

筑西市の『フーテンの寅さん』

真壁の町並み復興へ寄付

「植木定男(寅さんそっくり)寅さんの心を伝える会(平塚節子会長)」から、東日本大震災で被災した真壁の町並みの復旧・復興のために寄付がありました。

同会では、筑西ふるさと大使に任命されている植木定男さんが寅さんに扮し、寅さんの心を演じて、地域活性化活動をしています。真壁のひなまつりに参加した植木さんは、金釘流という独特の文字で、人生応援詩を色紙に作成し、寄付金を集めました。

植木さんは、「復興のお役に立てればと思います。今後も活動を続けていきたい。」と話していました。



真壁ライオンズクラブ(写真左から藤田会長、大木淳一さん、潮田新正さん)から石川教育長(写真右)に寄付金が手渡されました。

真壁ライオンズクラブ

真壁伝承館へ図書購入費を寄付

真壁ライオンズクラブ(藤田宗司会長)から、真壁伝承館内の真壁図書館に図書購入費の寄付がありました。

同クラブは、チームワークを発揮して社会奉仕活動を行うことによって、有意義な効果を上げることができるよう組織された団体で、今回の寄付は、同クラブが掲げる大きな志のひとつである青少年育成の一环として行われました。

寄付金を石川教育長に手渡した藤田会長は、「子どもの教育に役立てていただきたいと思います。」と話していました。



植木さん(写真左)から石川教育長(写真中央)に寄付金が手渡されました。

真壁石材協同組合

真壁庁舎の春日燈籠を修復

東日本大震災で破損していた真壁庁舎の春日燈籠が、真壁石材協同組合(伝統工芸士会)の伝統工芸士の皆さんの手によって修復されました。

この春日燈籠は、真壁庁舎建設当初(昭和49年)からあるもので、大きさは5尺。先の震災で倒れ、宝珠(一番上)・笠・火袋(三段目)が破損していました。

今回、真壁石材協同組合のメンバーが、その春日燈籠が破損したままの状態であることに気付き、「真壁石燈籠」の技術・技法を継承する伝統工芸士の皆さんが、修復してくださいました。



真壁庁舎で、春日燈籠を修復する伝統工芸士の皆さん



準優勝した坂戸サッカースポーツ少年団の皆さんと株式会社スミハツ専務取締役の津留高英さん(写真右)

サッカー大会

「第7回桜川市スミハツカップ」開催

桜川市総合運動公園をメイン会場に「小学生サッカー大会」「第7回桜川市スミハツカップ」が開催され、強風の中激戦を制した「JSCしもつま」が優勝しました。

本大会は、株式会社スミハツ(台山高森工業団地内)が地域貢献の一環として毎年行っているもので、今年で通算19回目。市内や近隣市町から、総勢24チームが参加しました。

市内から参加した4チームの内からは、「坂戸サッカースポーツ少年団」が、見事準優勝を飾りました。